

DAY 大作戦

学校長 森 愛子

12月4日から10日は人権週間です。本校では前倒しで11月27日からの1週間を設定しているのですが、27日の朝会では、子どもたちには、自分もお友達も一人ひとりが違うことを知り、それぞれの違いを大切にすることを考える1週間であることを伝えました。

「人権」とは、一人ひとりが生まれた時から持っている「自分らしく生きる」権利です。でも、「自分らしさ」はそれぞれ違うわけですから、自分の「自分らしく」だけを主張しすぎると他の人の「自分らしく」とぶつかり合うこともあります。だからと言って我慢しなさいと教えるのでは『人権感覚』は育ちません。自分とお友達の「違い」を知り、それぞれの「違い」を大切にすなかで、安心して過ごす経験の積み重ねが大切です。「違い」を認めず、時には攻撃するような社会を見てしまうと子どもたちは安心して自分らしさを出すことができません。

本校では、「Dだれもが」「Aあんしんして」「Yゆたかに」過ごせる学校にするために各クラスで話し合い、学級目標を決め、年間を通してDAY大作戦として人権教育に取り組んでいます。例えば、2年3組の学級目標は「げんき・なかよし・えがお・おもしろい」で、前期末の学級での振り返りでは、よかったところは「元気だった。おもしろいをたくさん見かけた。」改善点は「ほかの人のことを考えて、なかよしをふかめたい。」でした。3年1組の学級目標は「ふわふわ言葉いっぱい3年1組」で、ふわふわ言葉は増えたけど、これからは「話をまず聞く、相手のこと、自分のことを考える」ようにすると反省しています。後期始業式で4.5組と各学年1組の代表が、3月の修了式で2組と3組の代表が発表し、全体で共有します。いいクラスをつくるためにみんなで話し合って決める学級目標がすでに人権を意識しているものであるわけです。今年度の人権週間では、学年ごとの取組を通して、障害のある人やいろいろな経験や考えをもっている人と関わったり、絵本の読み聞かせなどを通して学んだりします。そこから、自分のとりにいる友達についても、「一人ひとりちがう」ことに気づき、日常生活の中でも、自分と見方や考えの違う人の意見を尊重したり、自分と違うところで苦労している人の気持ちを想像し手助けしたりすることを1つ1つ積み重ねていってほしいと思っています。

市沢の地域行事や会合に参加させていただく度に、自治会、社会福祉協議会を始めとしてさまざまな団体が、障害があってもなくても、赤ちゃんからお年寄りまで皆さんで楽しめるような場を提供するために尽力されているということに感心しております。違いを認め合うまちの姿が市沢の子の心を育ててくださっています。これからもどうぞよろしくお願いいいたします。